

1. 意見募集の趣旨

社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進に関する事項を検討するため、令和7年2月より「情報通信審議会 電気通信技術分科会 電波有効利用委員会」を設置し、令和8年7月に情報通信審議会において第一次中間答申が取りまとめられた。

引き続き、電波有効利用の推進に係る必要な制度整備等を行うことを念頭に、本委員会における議論の参考にするため、広く意見を募集する。

本意見募集で提出された意見については、本委員会における議論において活用する。また、必要に応じて、ヒアリング等を実施する。

2. 意見募集の内容

● 電波有効利用の推進に係る検討課題に対する考え方

これまで開催した電波有効利用委員会において、社会環境の変化に対応した電波有効利用の在り方に関する検討課題が取りまとめられ、第一次中間答申において、ひっ迫する電波の利用状況等を踏まえた周波数の移行・再編・共用の方向性、無線技術の進展等を踏まえた無線局免許手続等の簡素化・柔軟化・迅速化の方向性などについて提言された。引き続き、電波の利用状況やニーズ、電波に関する最新の技術トレンドを勘案して、電波の有効利用の推進のための検討課題として、別添に記載している課題に対する考え方について意見募集を行う。

3. 意見募集の期間

約1ヶ月間、意見募集を行う。

１．電波有効利用の推進に関する基本的方針

電波は、より一層の活用を徹底して進めることで、平時・災害時を問わず、国民生活を便利で安全・安心なものにするとともに、地域課題の解決や新たな市場の創出を通じた経済成長の源泉となる可能性を持っている。電波は有限の資源であることから、電波の利用状況やニーズ、6Gなどの電波に関する最新の技術トレンドを勘案して、電波の有効利用の推進に関する基本的方針を検討する必要があるところ、例えば、以下についてどのように考えるか。

- （１）電波利用の将来像（新たに展開が予想されるサービスやビジネス、新たな社会のイメージ）
- （２）2030年代を見据えた中長期的な方向性 等

２．周波数割当て等の在り方

ひっ迫する電波の利用状況等を踏まえた周波数割当ての基本的方向性について検討するとともに、今後の価額競争の在り方や携帯電話等周波数の有効利用の在り方など、これからの社会における電波利用ニーズに的確に対応した周波数割当て方策や運用調整の在り方について検討が必要である。例えば、以下についてどのように考えるか。

- （１）価額競争の在り方
- （２）無線LANやドローン等の運用調整の在り方
- （３）携帯電話等周波数の再免許制度及び再割当て制度の在り方 等

３．無線局免許制度等の在り方

衛星コンステレーションをはじめとする衛星通信技術の進展に適切に対応し、円滑なサービス導入が可能となるよう衛星通信に関連する免許制度の在り方等について検討が必要である。また、無線技術の進展等を踏まえ、混信が生じないような仕組みを担保しつつ、簡素で柔軟かつ迅速な免許制度（検査制度、無線従事者制度を含む。）の在り方について検討が必要である。例えば、以下についてどのように考えるか。

- （１）衛星通信の更なる円滑な利用に向けた制度の在り方
- （２）無線局免許制度の簡素化・合理化
- （３）無線設備の認証制度の在り方 等

４．電波利用料制度の見直し

電波の利用状況の変化や技術の進展等を踏まえ、電波の適正な利用を確保するために必要な共益費用に係る電波利用料制度の在り方を検討する必要がある。例えば、以下についてどのように考えるか。

- （１）電波利用料の額・使途
- （２）電波の更なる有効利用を推進するために考慮すべき事項 等

５．その他

その他、無線を利用したビジネスの社会展開を円滑に進めるための方策や、無線システムを安心して利用できる環境確保するための方策について検討する必要がある。例えば、以下についてどのように考えるか。

- （１）無線を利用したビジネス促進の在り方
- （２）電波の利用環境の在り方
- （３）上記以外の検討課題及びその解決のための方策 等